



小林 立栄 議員

一問一答方式

便利で豊かな地域社会へ デジタル化の推進を

市長 これからが大事な時

問.....

市役所と地区センターをリモートでつなぎ、住民からの相談や各種手続きに対応する等、地域づくりへの活用を。

答(市長).....

情報通信システムの活用を活発にしていきたい。

問.....

マイナンバーカードの普及促進として、申

請サポートの充実、商品券やスキップポイントを付与する自治体マ

イナポイント事業に取り組むべきでは。

答(市長).....

利便性の周知や普及への工夫が必要。提案の一つとして有効。

問.....

デジタル化は人間性が大事になる。芸術振興条例の策定を含め、芸術振興に取り組む必要は。

答(市長).....

遠野は芸術文化のまちであり、関係者の皆様と話をしながらしっかり取り組んでいく。

問.....

文化を観光振興や地域活性化につなげるのが重要。漫画やアニメ、ゲーム、小説や映画等を活用した取り組みを。

答(市長).....

魅力あるコンテンツ



遠野物語、妖怪、歴史や文化、自然。。。魅力いっぱい遠野。遊び心も大切です。

問.....
出会い・結婚・妊娠・出産・育児・教育・若い世代全般への切れ目ない支援の充実を。

答(市長).....
所得向上への取り組みの一つとして「リカレント教育」や「リスクリング」の推進を。

答(市長).....
わらすっこ条例、基金、プランだけでなく、様々な分野もグレードアップしていくことが必要。

答(市長).....
機運が高まることが重要。きっかけ作り等、様々な機会を作りたい。

問.....

制服について、多様な性への配慮だけでなく、冬の寒さ対策や動きやすさの面で、スカートとズボンが自由に選べる自治体が増えてきているが。

答(教育長).....

児童生徒等から相談があった時には、心情等にも十分配慮し、寄り添いながら適切に対応したい。

※リスクリングとは、必要とされるスキルや知識を新たに獲得する、職業能力の再開発、再教育のこと。

子ども・若い世代への支援を最優先で

市長 暮らしやすい、働きやすい、ずっと住んでいたい遠野市を作る

令和4年導入、学校運営協議会の目的は

教育長

遠野の宝子ども達の「生きる力」を育むため
一歩踏み込んだ取り組み

問.....

保護者や地域住民などによる合議制の学校運営協議会制度を導入する経緯は。

答(教育長).....

平成16年、法の改正により学校運営協議会の制度が発足した。

当市は、それ以前から学校の応援団として地域教育協議会を組織し、学校は地域と共に学校運営を行ってきた。法の改正で、更に学校運営の協議に、「学校運営の支援に必要な事

問.....

役割と設置の目的は。

答(教育長).....

学校基本方針、学校運営全般、教職員の任用に関する事、これらに意見を述べる権限をもつ。令和3年から小さな拠点の考えを

問.....

設置を予定する学校は。

答(教育長).....

3中学校区とし、協

問.....

支援学校の分教室に通う子どもと保護者の声を学校運営協議会へ届けるためには、委員に任用するなどの検討が必要ではないか。

答(教育長).....

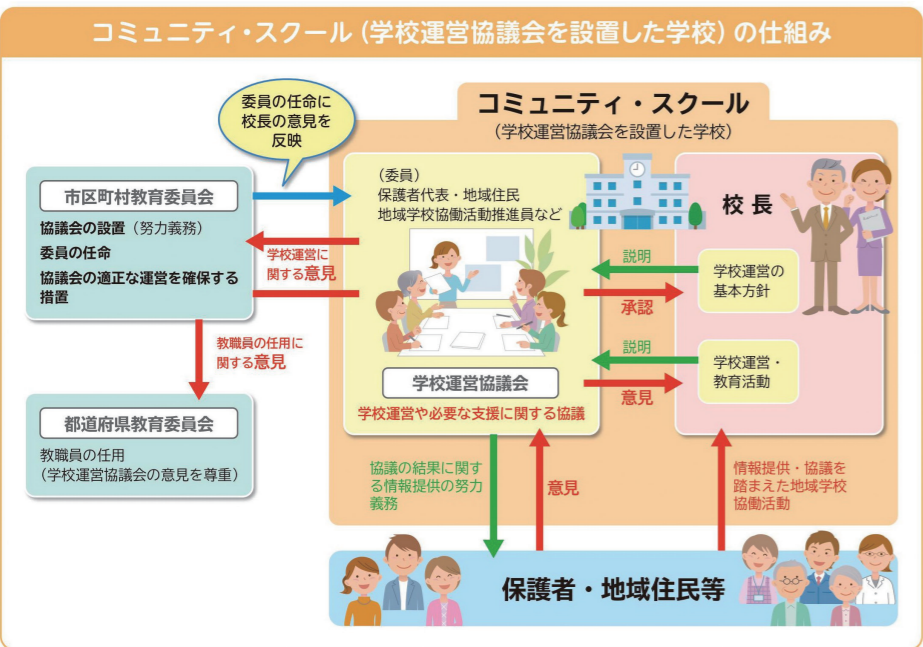
支援学校の分教室は、岩手県の所管であるが、市立学校内にある分教室なので、今後検討したい。

問.....

学校に行きづらさを感じる子ども、保護者

答.....

その他の質問
●市長所信表明に関する事について



の声はどのような形で学校運営協議会に届けられるのか。
答(教育長).....
児童生徒、保護者の方からの学校への情報提供やご相談を受けた段階で適切な対応をしていくことが肝要である。

コミュニティ・スクール (CS) は「地域とともにある学校づくり」に有効なツールです。(文部科学省リーフレットから抜粋)